

1 平成 28 年度の推進状況 【基本戦略 1 しごとを創る】

平成 28 年度の  
主な取り組み  
(18 件)

●野々市市創業支援事業計画の策定・認定  
平成 28 年 6 月に結成した創業支援ネットワークを活用して、市内で創業をめざす方々を支援するため、「野々市市創業支援事業計画」を策定し、平成 28 年 8 月に国の認定を受けた。創業支援事業計画に基づき、ワンストップ相談窓口の設置や創業塾の開催により創業支援を推進する。

●各種支援施策の実施  
市内の起業家育成賃貸（インキュベーション）施設であるいしかわ大学連携インキュベータ（i-BIRD）の入居企業 7 件に対する賃料の補助や、産学連携による研究開発の補助、新製品開発・販路開拓に関する補助を実施した。



●創業塾  
平成 28 年 11 月から 12 月にかけて、市商工会の主催で、野々市市創業支援ネットワークの協力の元、創業に係る基礎知識を学ぶ創業塾を全 4 日間の日程で開催した。

学生 9 名を含む 17 名が受講し、地域でのネットワークづくりや学生の起業家マインドの育成を図った。

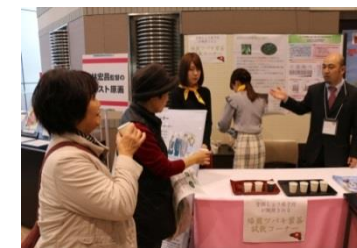


●企業立地の促進に関する条例の制定  
人口規模に左右されない強固な産業構造への転換を図るとともに次代を担う産業を創出するため、企業立地の促進に関する条例を制定した。

（平成 29 年 1 月 1 日施行）  
対象業種に対し、企業立地の促進、雇用の拡大、市内企業の事業機会の拡大を図るため、企業立地促進助成金と雇用促進助成金を交付する。

【対象業種】  
ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、自然科学研究所、デザイン業、機械設計業、ホテル（コンベンション機能を有するもの）

●野々市ブランド開発支援・認証制度  
制度自体は未整備であるが、学官連携で市花木の椿の葉を活用したお茶の研究に着手し、平成 29 年 3 月 18 日（土）・19 日（日）に開催した全国椿サミット野々市大会にて試飲を行った。



施策 1-1	次代を担う産業の創出				各事業の評価	○おおむね順調	施策 1-1 の評価
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値	目標値	◎順調 △やや遅れている △やや遅れている		
	いしかわ大学連携インキュベータ(i-BIRD)入居企業のうち当市支援企業数	H26年度 10件	H28年度 7件	H31年度 12件			△やや遅れている
	産学連携事業支援件数	0件	0件	5件			
	本社機能、研究機関の移転数	-	0件	1件			

施策 1-2	地域産業の再生と強化				各事業の評価	△やや遅れている	施策 1-2 の評価
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値	目標値	△やや遅れている ○おおむね順調 ○おおむね順調		
	野々市ブランド品開発支援件数	H26年度 -	H28年度 0品目	H31年度 1品目			△やや遅れている
	滞在人口	36,204人(平日)	36,820人(平日)	39,000人(平日)			
	第二創業支援件数	43,319人(休日)	45,757人(休日)	48,000人(休日)			

基本戦略 1	しごとを創る ～野々市らしい産業の創出～				施策 1-1 の評価	△やや遅れている	基本戦略 1 の評価
	重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値	目標値	△やや遅れている —(経済センサス未公開のため) —(経済センサス未公開のため) —(経済センサス未公開のため)		
	企業数《経済センサス》	H26年度 1,547社	H28年度 -	H31年度 1,600社			△やや遅れている
	従業者数(事業所単位)《経済センサス》	21,842人	-	23,000人			
	付加価値額(企業単位)《経済センサス》	57,131百万円	-	60,000百万円			

**平成 28 年度の  
主な取り組み  
(29 件)**

**●ワーク・ライフ・バランスの実現**  
多様な生き方を選択・実現できる社会をめざし、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした映画の無料上映会を開催した。約 320 人が視聴し、親しみやすい映画によってワーク・ライフ・バランスへの理解を深めた。  
※石川中央広域圏男女共同参画推進協議会事業

**●幼児発達相談事業**  
言葉の遅れ等、発達面について不安のある幼児の保護者や相談希望者等を対象に、不安の解消を図るため、幼児発達の専門家（臨床発達心理士）による個別相談を 37 回開催し、延べ 130 人が参加した。

**●未満児保育実施事業**  
共働き世帯が増え、未満児から子どもを預ける家庭が増加しており、未満児保育の計画的な確保が求められることから、未満児専門の保育園として中央保育園を再開した。

**●放課後子ども教室推進事業**  
放課後の子どもたちの居場所づくりとして、市内の学校や公共施設を活用し、地域ボランティアの方々の協力の元、子どもたちに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動の場を創出する取り組みとして実施し、148 人が参加した。

・野々市小学校	26 回
・御園小学校	25 回
・菅原小学校	27 回
・館野小学校	28 回
・富陽小学校	26 回
・こどもセンター	27 回

**●生活支援サービス基盤整備事業**  
日常生活のちょっとした困りごとを地域で支え合っ  
て解決する仕組みづくりを進めている。  
住民相互の支え合いの関係などを地図に落とし込んだ「地域支え合いマップ」を作成して地域の実態を把握し、明らかになった課題の解決方法を地域住民で考えた。

**施策 2-1**

**多様な働き方の確立**

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		実績値		目標値		各事業の評価
	H26年度		H28年度		H31年度		
ワーク・ライフ・バランス登録企業数	8社	→	10社	→	10社	→	△やや遅れている
女性の就業率	53.2%(H22)	→	54.7%	→	54.0%	→	
高齢者の就業率	19.2%(H22)	→	24.6%	→	20.0%	→	

施策 2-1 の評価

○おおむね順調

**施策 2-2**

**野々市らしい暮らしの実現**

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		実績値		目標値		各事業の評価
	H26年度		H28年度		H31年度		
子育て支援センター年間利用者数	37,258人	→	31,441人	→	42,000人	→	○おおむね順調
若年者雇用促進事業新規雇用者数	-	→	2人	→	25人就業(H27から5年間)	→	
大学生の県内就職率《COC+》	-	→	-	→	10%向上	→	

施策 2-2 の評価

○おおむね順調

**基本戦略 2**

**ひとの流れを創る ～安心して暮らせる環境づくり～**

重要業績評価指標 (KPI)	基準値		実績値		目標値		各事業の評価
	H26年度		H28年度		H31年度		
自然増減数	-	→	667人	→	800人増(H27から5年間)	→	○おおむね順調
社会増減数	-	→	△211人	→	1,500人増(H27から5年間)	→	
合計特殊出生率《H31年3月公表見込》	1.69(H20～24)	→	1.69	→	1.70	→	

基本戦略 2 の評価

○おおむね順調

2

平成 28 年度の  
主な取り組み  
(32 件)

●ののいち絆プロジェクト

学生が本市を学びのフィールドとして、町内会活動に参加し、地域課題の解決に地域住民と一緒に取り組んでいくプログラムの構築をめざす。

本プロジェクト自体はまだ始動していないが、学生が地域住民とともに取り組んでいる活動として、次のようなものがある。

①平成 28 年 8 月 28 日（日）、富奥地区の活性化を図ることを目的に、地域住民、金沢工業大学や石川県立大学、翠星高校の学生、生活学校等による、野菜や加工品販売、クラブ体験などを行う『TOMISHE（トミシェ）』を開催した。

②市民からアイデアを募集し、提案した団体と行政が協働でまちづくりに取り組む提案型協働事業の一つとして、空き家を利用し、市民の集いと支え合いを深める仕組みづくりのために、（一社）ケアサポートネットワークピーナッツ、本町 2 丁目町内会、金沢工業大学 Toiro プロジェクトとの協働で、コミュニティカフェ「2 丁目カフェ」の整備を行った。

●野々市市ふるさと交流会の充実

首都圏や近畿圏在住の市出身者や縁のある方、企業関係者との交流の場を創出し、ネットワーク化を促進する。

平成 28 年 11 月 26 日（土）、全国町村会館で「ふるさと交流会 in 東京」を開催し、65 人が参加した。また、近畿圏での交流会の開催に向けて、関係機関・団体と協議した。



●地域包括ケアシステムの構築

高齢になっても、自分らしく楽しく暮らし続ける仕組みづくりのため、高齢者の抱える課題を 6 つの視点（「運動」・「食」・「仕事」・「住まい」・「介護」・「医療」）に分類し、ワークショップの参加者自身が解決方法を検討した。



●地域福祉推進事業

いざという時の支え合いのためには、つながりの構築が必要である。

つながりの構築のために気軽に集うことができる場として、「農園のあるひろば」を 2 箇所開設し、子どもやお年寄り、地域の方々に栽培及び収穫を行っている。

収穫した野菜の試食会や社会福祉大会、お年寄りと子どものフェスティバルで、収穫物の販売を行っている。

●開設公園リニューアル事業

市民の憩いと安心に満ちた緑の空間づくりのため、野々市中央公園施設のリニューアルを行った。

（椿観賞施設、椿育成棟、椿山整備、トイレ 2 棟、正面駐車場拡張、園路、照明灯）



●土地区画整理事業

中林地区及び西部中央地区の土地区画整理事業の市受託事業として、埋蔵文化財調査、道路測量設計、補償算定業務及び都市計画道路の一部築造工事を行った。

●石川中央都市圏連携推進事業

石川中央都市圏ビジョンに基づき、14 の事業に連携して取り組んだ。

【主な事業】

- ・小児科初期救急の広域運営と急病センターの整備
- ・上下水道事業における広域連携の研究
- ・滞在型観光の推進
- ・災害対策に係るドローンの実演講習
- ・国際交流にかかる連携の強化
- ・歴史遺産の保存・活用・情報発信



### 生活基盤の維持と発展

各事業の評価 ○おおむね順調

施策3-1の評価

重要業績評価指標(KPI)	基準値		実績値		目標値	
	H26年度	H28年度	H28年度	H31年度		
コミュニティバス利用者数	198,934人/年	197,457人/年	197,457人/年	200,000人/年		
新規土地区画整理事業の認可	-	平成27年度認可済み	平成27年度認可済み	平成27年度認可		
公共施設等総合管理計画の策定	未策定	平成28年度策定	平成28年度策定	平成28年度策定		

○おおむね順調  
◎順調  
◎順調

### 安心な暮らしの確保

各事業の評価 △やや遅れている

施策3-2の評価

重要業績評価指標(KPI)	基準値		実績値		目標値	
	H26年度	H28年度	H28年度	H31年度		
地域包括ケアシステムを構築するための拠点数	0箇所	4箇所	4箇所	4箇所		
介護保険新規申請者の平均年齢	81.7歳	79.5歳	79.5歳	82.0歳以上		
消防団員定数	120人	110人	110人	130人		

◎順調  
△やや遅れている  
△やや遅れている

### ふるさとづくりの推進

各事業の評価 ○おおむね順調

施策3-3の評価

重要業績評価指標(KPI)	基準値		実績値		目標値	
	H26年度	H28年度	H28年度	H31年度		
野々市市に誇りや愛着を持つ市民の割合《市民意識調査》	75.8%	-	-	80%		
野々市会の会員数	65人	76人	76人	90人		
魅力ある学校づくり懇話会の設立	-	0小学校区	0小学校区	5小学校区		

—(市民意識調査未実施のため)  
○おおむね順調  
○おおむね順調

### 石川中央都市圏の発展

各事業の評価 ○おおむね順調

施策3-4の評価

重要業績評価指標(KPI)	基準値		実績値		目標値	
	H26年度	H28年度	H28年度	H31年度		
石川中央都市圏における連携事業数	22事業	14事業	14事業	30事業		

○おおむね順調

### “まち”と“ひと”のつながりを創る ～地域・広域連携によるまちの基盤充実～

各事業の評価

基本戦略3の評価

重要業績評価指標(KPI)	基準値		実績値		目標値	
	H26年度	H28年度	H28年度	H31年度		
地域交流・地域支え合いの拠点の形成数	25箇所	36箇所	36箇所	45箇所		
自主防災組織結成率	74%	90.7%	90.7%	90%		
石川中央都市圏ビジョンの策定	未策定	平成27年度策定	平成27年度策定	平成27年度策定		

施策3-1の評価 ○おおむね順調  
施策3-2の評価 △やや遅れている  
施策3-3の評価 ○おおむね順調  
施策3-4の評価 ○おおむね順調

○おおむね順調  
◎順調  
◎順調